

## 「セツブンソウ<sup>ぐんせいち</sup>群生地」

- 指 定 千曲市指定天然記念物 平成 18 年 9 月 28 日
- 所 在 地 千曲市大字<sup>とぐら</sup>戸倉字日影平 1124 他  
千曲市大字<sup>くらしな</sup>倉科字杉山 2039 他
- 所 有 者 個人
- 概 要 セツブンソウ
- 公 開 いつでも可（周囲に綱を張ってありますので立ち入りは禁止願います）

キンポウゲ科のセツブンソウは、日本特産種で、関東地方(栃木県)から中国地方(広島県)にかけて分布が知られています。しかし、生育地が数少なく限定されているので、日本並びに長野県の絶滅危惧植物Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）に指定されています。

暖地では2月の節分のころから咲き出し、初夏には地下に<sup>きゅうげい</sup>球茎を残して地上部は枯れてしまう春植物です。早春、花の少ない季節に真っ先に咲く可憐な草花で、<sup>ゆきわりそう</sup>雪割草とも呼ばれて多くの人を魅了しています。

長野県内の生育地は、中央部から北部に限られています。千曲市戸倉の分布地は大きな群落で、倉科地区はカラマツ植林地で、ここもかなりの面積に広がっています。このような群生地は、長野県内の分布北限にあたると思われます。

